

施策の対象：児童生徒

主担当課：学校教育課

／ 関係課：総務課、都市整備課、環境保全課

■ 基本方針

関連計画：－

未来を拓く子どもたちが、社会において自立的に生きるために必要な力を身に付けることができるよう、知識・技能の習得とともに、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力や人間性の育成をめざした教育を行います。

また、一人ひとりの資質・能力の確実な育成につながるよう、特別支援教育*や不登校の子どもへの対応を充実させるとともに、地域全体で教育に取り組む体制を構築します。

■ 現状と課題

グローバル化の進展やICT*の急速な進化など、加速度的に変化する社会に対応できるように子どもたちの資質や能力を育む教育に取り組んでいます。

少子化により児童生徒が減少傾向となっている中、地域ぐるみで子どもの成長を支えるため、学校運営協議会*と地域学校協働本部*を設置し、今後の活動の充実と各学校の特色ある学校運営の構築に向けた継続的な取り組みを進めています。

- 子どもたちの資質・能力の確実な育成をめざして、「主体的・対話的で深い学び」を視点とした業務改善が求められており、教職員の資質向上を図るための研修が必要です。
- 児童生徒ごとに「不登校になったきっかけ」や「不登校の継続理由」を把握して、適切な支援及びきめ細やかな指導を行う必要があります。
- 地域と学校が連携・協働して地域全体で教育を行うことが重要です。
- 経済的な理由で就学や進学が困難な世帯には支援を行い、保護者負担の軽減が必要です。
- 子どもたちの安全をおびやかす災害や事故及び犯罪が発生しており、これらへの対応や未然に防ぐ体制が必要です。



授業風景



地域学校協働活動: 花植えの様子

■今後の取り組み

1-① 誰でも楽しく学び、わかる教育の推進

資質・能力の確実な育成をめざし、すべての学校でわかる授業、楽しい授業、主体的に学ぶ意欲を引き出す授業を実現するとともに、ふるさとに愛着と誇りを持たせる取り組みや、ICT機器*を活用した学習活動の充実を図ります。

1-③ 学校保健・特別支援教育等の充実

健康で楽しく学校生活が送れるよう、進んで運動に親しむ習慣をつけ、体力の向上を図るとともに、感染症対策を徹底します。

また、特別な支援を必要としている児童生徒一人ひとりのニーズに合ったきめ細やかな教育を実施します。

1-⑤ 就学や進学の支援

経済的な理由により就学や進学が困難な児童生徒、または保護者に援助や貸付を行い、奨学に専念できるよう教育の機会均等を図ります。

1-② いじめの解消・不登校児童生徒の支援

子どもたち一人ひとりが抱えている問題を早期に解決できるよう、学校での相談体制を確立します。また、関係機関との支援体制を構築し、情報を共有しながら連携して解決を図ります。

1-④ 地域学校協働活動の推進

地域の高齢者、保護者、PTA等の参画を得て、地域と学校が連携・協働して学校を核とした地域づくりに取り組み、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えます。

1-⑥ 安全体制の確保と確立

避難訓練や交通安全教室、SNS*の適切な関わり方の指導等を通して、子どもたちの防災、事故、犯罪被害等の防止意識を高めます。

また、「通学路安全推進会議」で通学路の安全点検及び対策の進捗管理を行うとともに、巡回パトロール等により登下校時の安全確保に努めます。

■成果指標

注:太字・斜体 文字は、新型コロナウイルスの影響を受けた異常値等

指標名	H30	R元	R02	R08
1時間以上家庭学習している割合 (小6・中3)	小：68.3% 中：61.8%	小：76.7% 中：60.9%	未実施	小：90.0% 中：90.0%
不登校児童生徒の数 (小・中学生1,000人当たり)	小：5.8人 中：29.8人	小：8.9人 中：24.7人	小：10.7人 中：24.1人	小：5.0人 中：20.0人
学校が地域と連携・協働して実施した 地域協働活動の数	—	—	66件	100件

■SDGs



施策の対象：児童生徒

主担当課：学校教育課／関係課：図書館

■ 基本方針

関連計画：五泉市学校施設長寿命化計画

子どもたちの興味・関心を引き出し、求められる資質・能力を育むために、教材教具や学校図書の充実を図ります。

また、子どもたちが安心して、安全で快適な学校生活が送れるよう、学校施設の整備・充実を図ります。

■ 現状と課題

ICT*教育環境の整備は概ね完了しましたが、今後も子どもたちの情報活用能力を育成するため、ICT教育環境の整備を継続するとともに、教材教具や学校図書室のより一層の充実が求められています。

また、すべての学校の普通教室等に冷房設備の設置やトイレの洋式化などの設備を整備したほかに、老朽施設の改修やグラウンド整備などを計画的に進めています。

- 授業やクラブ活動等で楽しく学習できる環境を整備するため、さまざまな教材教具の充実を図る必要があります。
- 学校図書は、子どもたちの健全な教養を身につけるための大切なものです。定期的な図書の整備を行い、読書好きの子どもを育成する必要があります。
- 整備したICT機器*を有効活用できるよう、学習や利用目的にあった機能やシステム構成等について検討する必要があります。
- 児童生徒の安全・安心な環境を確保するため、引き続き、老朽施設の改修やグラウンド整備などを行う必要があります。また、教育環境の変化や社会的ニーズに対応する施設や設備の整備も進める必要があります。



エアコンを整備した普通教室



タブレット端末を利用した授業風景

■今後の取り組み

2-① ICT教育環境の充実

1人1台端末の整備により、ICT機器を活用する場面が増えたことから、子どもたちが情報や情報技術を適切に活用し、学習意欲が一層高まる授業ができるよう、今後もシステム機能の改善を検討し、ICT環境の充実に努めます。

2-② 教材教具の充実

学校で使用する学習教材や授業等で使用する備品、体育やクラブ活動で活用する運動用具や楽器などの教具の充実を図り、教育効果を高め、児童生徒が興味をもって、楽しく学習できる環境を整えます。

2-③ 学校図書の充実

学校図書室については、魅力ある図書室となるよう心がけ、児童生徒が親しみをもって入れるような空間づくりに努めるとともに、定期的な図書の整理や市立図書館と連携することで常に興味・関心のある図書の整備に努めます。

2-④ 学校施設改修の推進

子どもたちが安心して安全で快適な学校生活が送れるよう、長寿命化計画に基づき、老朽施設の改修やバリアフリー化などを進めるとともに、改修等事業ではグラウンド整備などを行います。また、教育環境の変化や社会的ニーズに対応する施設や設備の整備も進めています。

■成果指標

指標名	H30	R元	R02	R08
五泉市学校施設長寿命化計画に基づく改修棟数(累積)	—	—	0棟	4棟

■SDGs



施策の対象：市民

主担当課：生涯学習課／関係課：高齢福祉課、学校教育課

■ 基本方針

関連計画：第2次五泉市生涯学習推進基本計画

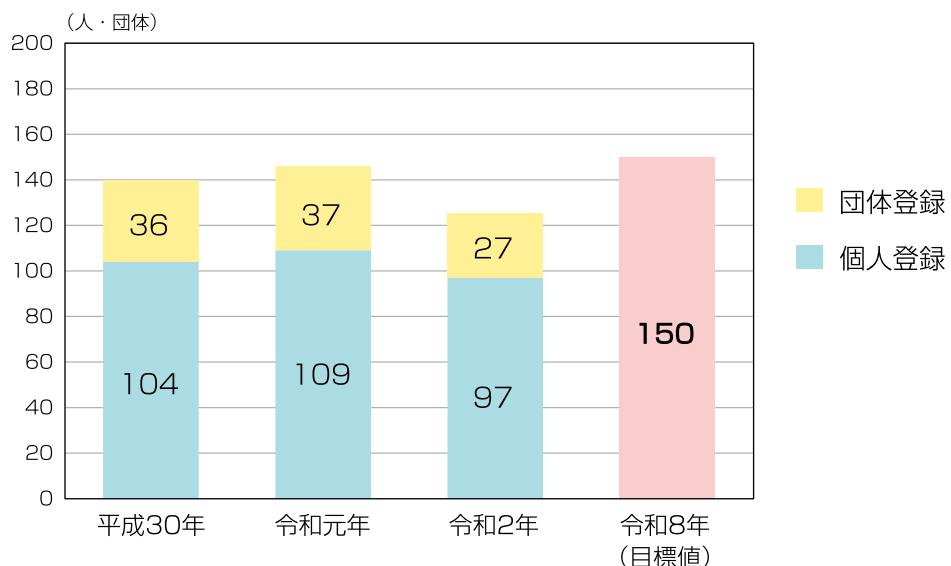
市民が、いつでも、どこでも、誰でも学べ、さらに学んだことを教えることで、学ぶ喜びと学び合う喜びを実感できるまちをめざします。

市民の生涯学習活動の場の充実や情報提供等に努め、学習意欲の向上と多様な価値観に対応した学習ができる環境づくりを推進するとともに、地域の特色を活かした学習ができる体制の整備を推進します。

■ 現状と課題

高齢化や高度情報化など、社会環境は大きく変化しており、生きがいや豊かな心を求めて、生涯学習に対するニーズは多様化しています。その一方で、自主的な学習や、サークル活動に参加している市民の割合は、平成27年の21.7%から令和2年には17.2%と減少しています。

- 市民の主体的な活動を支援するためには、市民ニーズに応じた学習機会や情報の提供が必要です。同時に、民間指導者（達人バンク）の登録者の新規開拓と活性化が必要です。
- 子どもたちの学習機会の充実を図るため、地域住民の協力を得ながら子どもたちが自ら考える機会づくりを進める必要があります。
- 市民の生涯学習活動の充実を図るため、活動の発表、情報発信を行う場を提供していく必要があります。
- 地域に根ざした生涯学習活動を推進するため、各地区の公民館で行う活動への支援を行う必要があります。



図：達人バンク登録者数

■今後の取り組み

3-① 学習機会の充実

誰でも気軽に「学ぶ」ことができると同時に、「教わる」だけでなく、学んだことを「教える」ことができるなど、自分の能力を社会の中で活かせるような学習機会の充実を図ります。また、市のホームページ等を活用し、積極的に講座や講演会などの情報提供に努めます。

3-③ 子どもたちの学習機会づくり

地域社会の中で、子どもたちが安全・安心に心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。全小学校区で開設している寺子屋事業について、指導者の確保・育成に努めるとともに、子どもたちが、自ら考え、行動できる豊かな感性や社会性を養う学習機会の提供に努めます。

3-⑤ 生涯学習関連施設の充実

利用者が安全に安心して活動できるよう、施設の維持管理に努めるとともに、必要な改修を進めます。

また、ラポルテ五泉とさくらんど会館を生涯学習活動の拠点施設と位置付け、活動の発表や情報発信の場として活用していきます。

3-② 民間指導者の育成・活用の推進

「ごせん活き活き楽習達人バンク」制度を充実させるため、登録者の活動支援、指導者の掘り起しなどを進め、市民自らが自主講座を開設することができるよう、指導者の育成と活用を推進します。

3-④ 公民館活動の推進

地域に根ざした生涯学習を推進するため、小学校などの施設を活用した公民館活動を支援するとともに、気軽に参加できる学習機会の提供や地域の特色を活かした学習ができる体制の整備に努めます。



五泉市交流拠点複合施設 ラポルテ五泉

■成果指標

指標名	H30	R元	R02	R08
全校児童に占める寺子屋参加児童の割合	14.9%	13.6%	14.6%	15.5%
「ごせん活き活き楽習達人バンク」の登録者数	個人登録104 団体登録36	個人登録109 団体登録37	個人登録97 団体登録27	150

■SDGs



施策の対象：市民

主担当課：スポーツ推進課／関係課：生涯学習課、学校教育課、高齢福祉課、健康福祉課、こども課

■ 基本方針

関連計画：第2次五泉市生涯学習推進基本計画

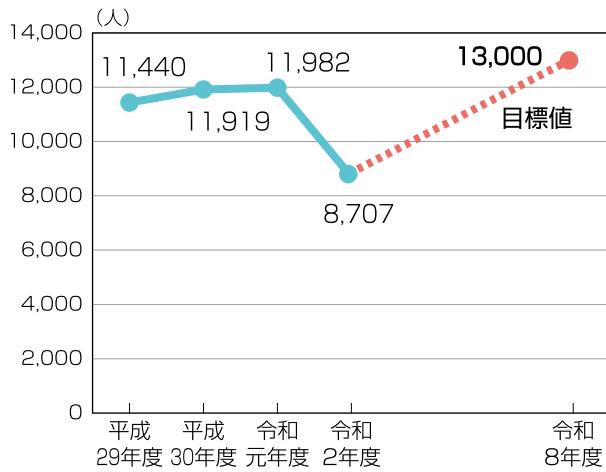
子どもから高齢者まで、誰もが、いつでも、どこでも気軽に参加できるスポーツやレクリエーション活動の機会の提供と、施設環境の整備を行うことで、一人でも多くの市民の健康維持と体力増進を図り、生涯を通じて健康で活力に満ちた生活を送ることができるまちをめざします。

■ 現状と課題

運動する子どもとしない子どもの二極化や、生活習慣病の増加、高齢化の進展などにより、「健康維持」「体力増進」「介護予防」のための生涯スポーツに対する関心が一段と高まっています。

一方、情報化社会の進展やコロナ禍での新しい生活様式の実践などにより、人間関係の希薄化や身体を動かす機会の減少、精神的ストレスの増大などの新たな問題も生じており、スポーツやレクリエーション活動への参加者数減少の一因となっています。

- 市民ニーズに合わせた、健康増進に役立つ教室や普段運動に関心がない人も参加したくなるような教室、イベントの企画が必要です。
- スポーツの持つ意義や効果が改めて注目されている中、競技スポーツの振興とスポーツ人口拡大のため、選手や指導者の支援と各種スポーツ団体の育成強化が必要です。
- スポーツへの関心と競技スポーツの技術の向上を図るため、スポーツイベント等の招致・開催に努め、レベルの高い試合等を間近で体感できる機会を提供する必要があります。
- 老朽化に伴い改修の必要なスポーツ施設が多くなっています。既存の施設を有効に活用するため、計画的な改修が必要です。



図：体力づくり教室等延べ参加者数の推移



こども水泳教室

今後の取り組み

4-① 生涯スポーツ活動の推進

子どもから高齢者まで、市民の健康維持・体力増進を図り、市民が健康で活力ある生活を送るため、(一社)五泉市スポーツ協会総合型クラブヴィガと連携し、各種運動機会の提供や教室を開催します。

4-③ スポーツ指導者及び団体等の育成強化の推進

スポーツ指導者の資質向上のため、教室等の指導者となるスポーツ推進委員などへの研修を実施します。

また、(一社)五泉市スポーツ協会及び各種スポーツ団体を支援し、スポーツ人口の拡大を図ります。

4-⑤ スポーツ施設等の環境整備

既存のスポーツ施設等を最大限に有効活用するとともに、さまざまなニーズに対応するための施設整備を行います。

また、地域のスポーツ活動の拠点施設として、安全で安心して利用できるよう、適切な管理運営に努めます。

4-② 競技スポーツの振興

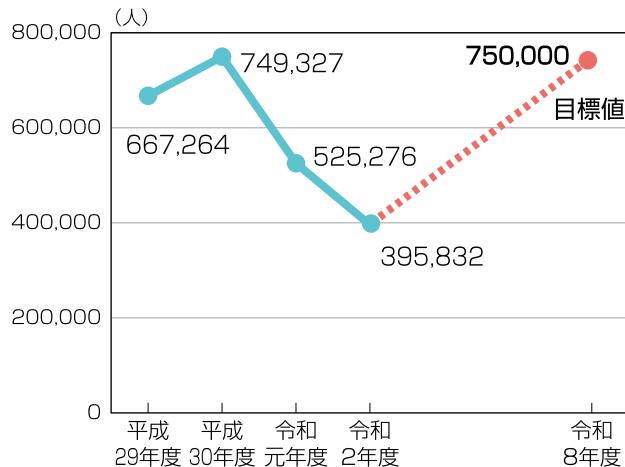
スポーツ競技者の競技力の維持・向上を図るとともに、市民が気軽に参加できる各種スポーツ大会を積極的に開催します。

また、ジュニア選手の育成強化に努めるとともに、ブロック・全国大会等の出場者に奨励費を支給し、大会出場を支援します。

4-④ スポーツイベント等の招致と開催

(一社)五泉市スポーツ協会及び各種スポーツ団体と連携して、スポーツイベント等の招致・開催に努めます。

また、市外の学生等が行う部活動やサークル活動等の合宿を誘致し、交流人口の増加と地域経済の活性化を図ります。



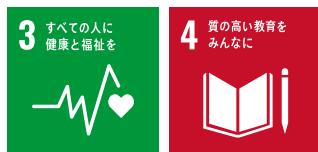
図：体育施設等延べ利用者数の推移

成果指標

注：太字・斜体 文字は、新型コロナウイルスの影響を受けた異常値等

指標名	H30	R元	R02	R08
体力づくり教室等延べ参加者数	11,919人	11,982人	8,707人	13,000人
体育施設等延べ利用者数	749,327人	525,276人	395,832人	750,000人

SDGs



施策の対象：市民

主担当課：生涯学習課／関係課：—

■ 基本方針

関連計画：第2次五泉市生涯学習推進基本計画

市民が自主的かつ創造的な芸術文化活動を行うことで感動や生きがいを生み、いきいきと心豊かに暮らせるまちをめざします。

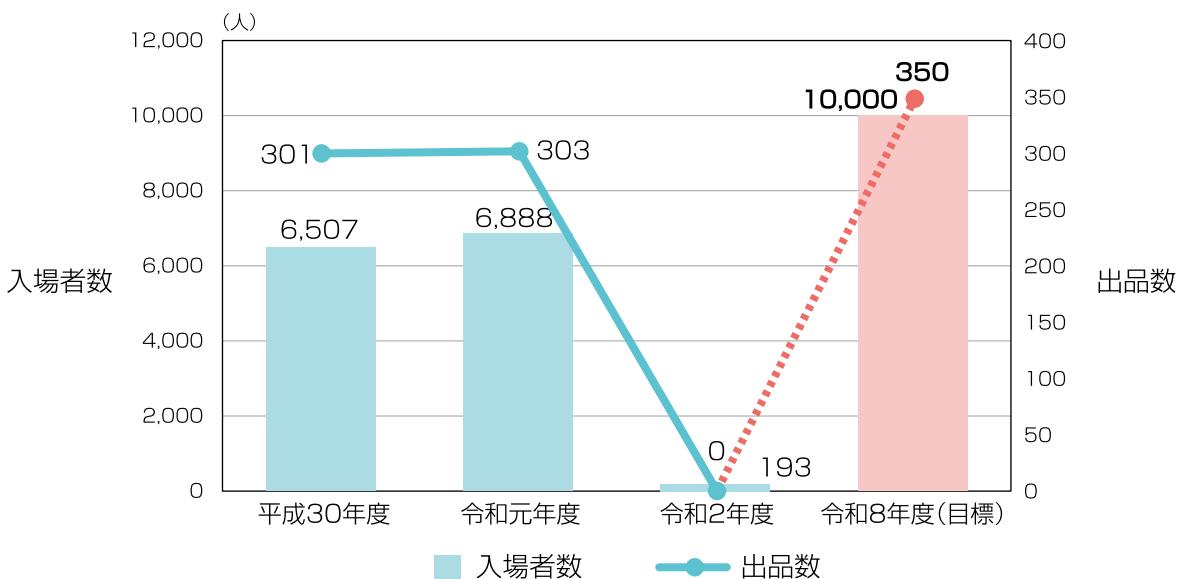
芸術文化団体等と連携し、市民の芸術文化活動を支援するとともに、優れた芸術文化にふれる機会の充実を図ります。

■ 現状と課題

市民の中に芸術文化への学習意欲や活動成果発表などニーズの高まりも見られるものの、文化事業の参加者や入場者数、出品数については、対象者の高齢化や固定化等により減少傾向にあります。

また、令和2年度実施の市民意識調査において「芸術文化の振興」の満足度が前回平成28年度と比較して6.6ポイント減少しています。これは満足率が低下した項目のうち最大となっており、市内での芸術文化振興の充実に満足していない市民が多くなっています。

- 芸術文化団体、サークル活動団体などと連携し、市民が主体的に活動できる環境整備が必要です。
- 芸術文化の振興を図るため、芸術文化団体、サークル活動を支える民間指導者の育成が課題となっています。
- 市民の芸術文化に対するニーズに対応するため、文化施設の充実を図っていく必要があります。
- 交流拠点複合施設ラポルテ五泉を新たな芸術文化活動の拠点とし、より多くの市民が感性を豊かにし、生きる喜びを感じられる機会を増やすことが必要です。



図：市が主催する文化事業入場者数及び市展・文化展の出品数

データ出典：「五泉市の社会教育・生涯学習」令和元年度版～令和2年度版

※令和2年度は新型コロナウイルスの影響により減少

今後の取り組み

5-① 市民の芸術文化活動の推進

市民の芸術文化活動の場や活動成果の発表機会の充実に努め、市民の主体的・創造的な芸術文化活動の活性化を図ります。

市民が自主的に文化事業を行えるよう、芸術文化団体等と連携して自主事業への支援や環境づくりに取り組みます。また、ホームページやSNSを利用し新規参加者の増加を図ります。

5-③ 文化施設の充実

市民の芸術文化活動の場として、施設の維持管理に努めるとともに、必要な改修を進めます。

ラポルテ五泉とさくらんど会館を拠点とし、芸術文化活動の更なる活性化を図ります。

5-② 芸術文化団体の育成支援

市民自らが主体的に文化活動を行えるよう、利用しやすい施設運営に努め、団体や指導者の育成を図ります。

芸術文化活動の核となる文化協会の活動を支援するとともに、連携・協力して担い手の育成を図ります。

5-④ 芸術文化の鑑賞機会の充実

市民の芸術文化に対する関心を高め、生涯を通じて多様な芸術文化に出会い、感動や喜びを実感できるような音楽、美術、演劇などにふれる機会の充実に努めます。



市民音楽祭



ラポルテ五泉多目的ホール

成果指標

注: 太字・斜体 文字は、新型コロナウイルスの影響を受けた異常値等

指標名	H30	R元	R02	R08
市が主催する文化事業入場者数	6,507人	6,888人	472人	10,000人
市展・文化展出品数	301点	303点	—	350点

SDGs



施策の対象：市民

主担当課：図書館／関係課：学校教育課、こども課

■ 基本方針

関連計画：第2次五泉市子ども読書活動推進計画

市民の多様な読書・情報ニーズに対応することができる図書館資料を収集・整備・保存することで、生涯にわたる豊かな学びを提供できるまちをめざします。

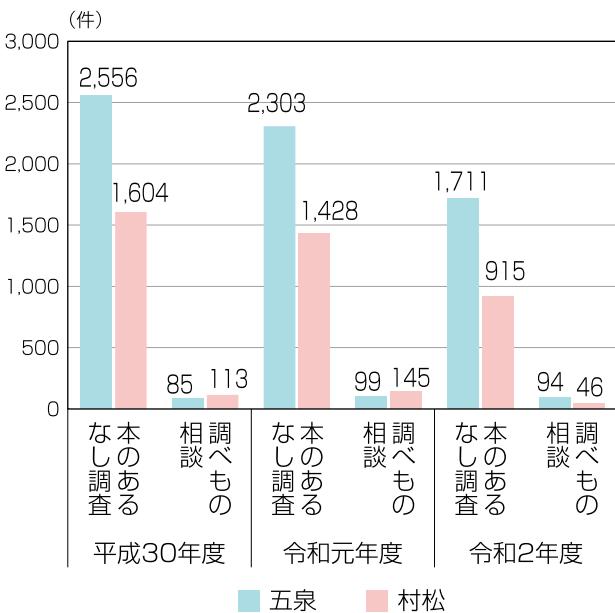
また、家庭、地域、学校など社会全体で読書活動に親しむ環境づくりを推進し、誰もが知的好奇心を満たすことができるまちをめざします。

■ 現状と課題

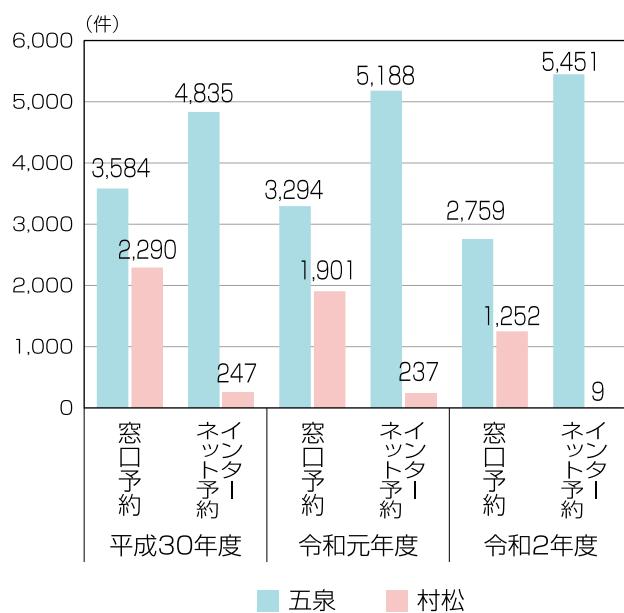
読書活動は子どもの「こころ」の成長にとって大切な要素の一つです。近年、インターネットや電子書籍などの普及により生活環境が変化する中、子どもの読書離れが指摘されており、図書館を取り巻く環境も大きく変化しています。

市民の生涯にわたる学びと暮らしに役立つ施設として、図書館に求められる機能はますます多様化・高度化しています。

- 市民の多様なニーズに対応した魅力のある蔵書整備や、利用者の利便性を考えて定期的に図書貸出システムの更新を行う必要があります。
- 図書館資料を利用した調査・研究に応えるため、的確に資料を探せるよう、案内・回答機能の充実を図る必要があります。
- 子どもたちが読書に関心を持ち、いつでも読みたいときに興味ある本に出会えるよう、読書環境を整備する必要があります。
- 市民の知的好奇心を満たし、誰もが利用しやすく豊かな時間を過ごせる空間としての整備が求められています。



図：本のあるなし調査や調べもの相談件数



図：図書館資料の予約件数

■今後の取り組み

6-① 図書館資料の収集・保存と提供の充実

市民のニーズに対応した幅広い資料を収集するとともに、利便性向上のため定期的な図書貸出システムの更新と、電子書籍の導入検討を行い、サービス拡充に努めます。

また郷土・行政資料の収集・保存活動、古文書整理の取り組みを強化し、地域の歴史・文化情報について発信します。

6-③ 子ども読書活動の推進

次代を担う子どもたちの豊かな心を養うため、成長過程や発達段階に応じた本を提供できるように努めます。また、読書ボランティアの育成を行い、読み聞かせ会等のイベントを通じて読書機会を充実させるとともに、家庭や学校図書館との連携を深めます。



おすすめ本の表紙を展示した絵本コーナー
(五泉図書館)

6-② 調査研究機能の強化

市民の調査研究活動に対して、図書館資料等を活用してサポートする機能（レファレンス*）を強化するため、過去の調査結果をデータベース化し、情報提供できるよう整備を行います。また、サービス提供の利用促進を図るため、市民へのPR活動に努めます。

6-④ 読書しやすい環境の整備

図書館内の表示や配置を、わかりやすく、利用しやすいものに工夫し、豊かな時間を過ごせる空間として整備を進めます。また、インターネット等による利用促進や図書館ホームページの充実など、情報発信の強化と、図書に触れ合う機会の増加に努めます。



小学校での出前おはなし会

■成果指標

注: **太字**・**斜体** 文字は、新型コロナウイルスの影響を受けた異常値等

指標名	H30	R元	R02	R08
市民1人当たりの図書等貸出点数	4.0点	3.8点	3.1点	4.0点
図書館利用カード登録率	43.2%	44.8%	46.2%	50.0%
18歳までの図書館利用カード登録率	44.8%	43.9%	42.1%	45.0%

■SDGs



■ 基本方針

関連計画：第2次五泉市生涯学習推進基本計画

郷土の自然や歴史、文化財は後世に伝え残さなければならない地域の財産であることの理解を深め、活用できるまちをめざします。

地域に残る年中行事や伝統芸能を後世に伝えるため、後継者の育成や保存団体の支援に努めます。

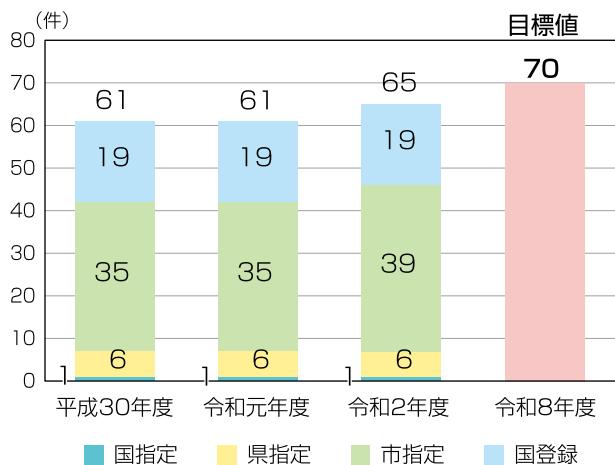
また、文化財等の公開、展示施設の充実と情報発信に努めます。

■ 現状と課題

郷土の自然や歴史、文化財は、地域の貴重な財産ですが、これに関心を持ち誇りに思う市民は多くありません。

地域での生活習慣の変化や世代間交流が希薄になり、年中行事や伝統芸能を次の世代に引き継ぐことが難しくなってきています。

- 市内に残る文化財の適正な保護・保存に努めるとともに、市が指定して保護する必要がある文化財について情報収集が必要です。
- 市内にある約400か所の周知遺跡※については、開発計画を事前に把握し、関係機関との協議・調整を図りながら、遺跡調査を行い、保存することが求められています。
- 郷土の歴史や文化財についての理解を深めるため、村松郷土資料館の有効活用や観光と連動した情報発信が必要です。



図：国・県・市指定・国登録文化財の件数

データ出典：「五泉市の社会教育・生涯学習」
(平成30年度、令和元年度、令和2年度版)



村松郷土資料館

■今後の取り組み

7-① 指定文化財等の保存と利活用

市内に残る貴重な文化財をより良い状態で保存し、所有者等の協力を得たうえでの公開に努めます。

また、文化財に対する市民の理解を深めるための学習機会の充実に努めます。

地域の伝統行事や芸能を後世に継承していくため、保存団体や後継者の支援に努めます。

7-③ 文化財展示施設の充実

村松郷土資料館を活用し、文化財等の公開展示を行います。

郷土史研究家や文化財所有者の協力を得ながら、魅力ある特別展等を開催し、郷土の歴史や文化財を知る機会の充実に努めます。



市指定文化財 薬師如来仏

7-② 埋蔵文化財の保存と利活用

埋蔵文化財については、必要に応じて発掘調査を実施し、記録保存に努めます。

また、発掘調査により出土した遺物や記録資料を郷土資料館等で展示することにより、郷土の歴史を知る機会の提供に努めます。

7-④ 情報発信の充実

郷土の自然、歴史、文化財を広く市民に周知し、郷土を愛する心を育むためにパンフレットやホームページ、SNS*等での情報発信に努めます。

また、観光と連動した文化財を活用したイベント等の情報発信に努めます。



市指定史跡 大蔵遺跡出土「栄光环」

■成果指標

指標名	H30	R元	R02	R08
指定文化財の件数	61件	61件	65件	70件

■SDGs



施策の対象：高齢者

主担当課：高齢福祉課／関係課：－

基本方針

関連計画：五泉市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画

高齢者が趣味や生きがいをもって、充実した生活を送れるまちをめざします。

長年培ってきた知識や能力をもった高齢者が、地域社会で活躍できる場づくりや就労を希望する場合の支援、交流機会の充実による心身の健康保持を推進します。

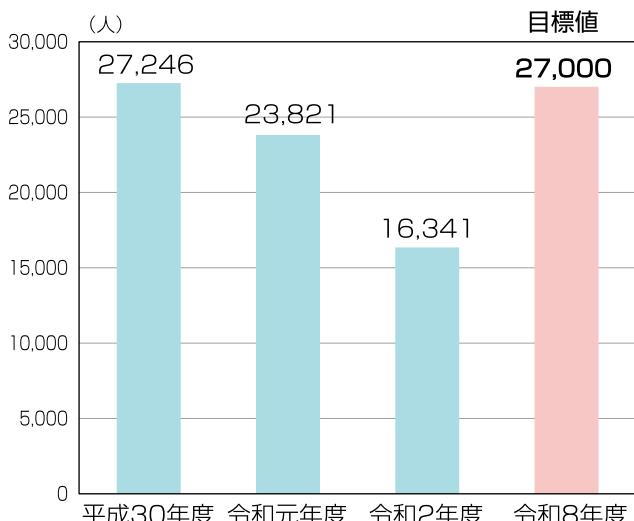
高齢になると、日常生活の中で困難なことや不安なことが多くなるため、高齢者を支援するサービスの充実に努めます。

現状と課題

令和3年6月30日現在の高齢化率*は、36.2%となっています。

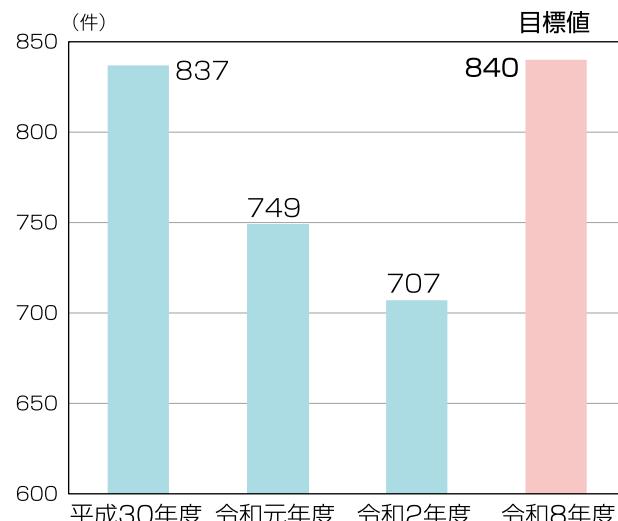
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(R2.3実施)では、49.6%の方が地域活動へ参加したいと回答しており、健康で生きがいのある高齢期を送りたいという思いから、高齢者の社会参加への関心は今後も増していくことが予想されます。

- 高齢者世帯が増加する中、高齢者が気軽に交流を持てる場の確保と、自主的な生きがい・健康づくりのための環境の整備と充実が必要となっています。
- 社会参加や就労意欲のある高齢者が地域社会で活躍できるよう、関係機関や団体との連携を強化する必要があります。
- 要援護性の高い高齢者単身世帯の増加が見込まれているため、安心して暮らせるよう生活の援助や福祉の増進、社会参加しやすい環境づくりが求められています。
- 生きがいや介護予防につながるための各種ボランティア活動や、支援が必要な人を支える担い手として活躍する高齢者の支援が必要です。



図：老人福祉センター（翠泉園・かがやきの郷）
利用者数

*令和2年度は新型コロナウイルスの影響により減少



図：乗合タクシー「さくら号」回数券
購入助成件数

*令和2年度は新型コロナウイルスの影響により減少

今後の取り組み

8-① 生きがい活動の推進

敬老事業などにより、市民全体が高齢者福祉について理解を深め、かつ高齢者が相互交流や自らの生活の向上に努める意欲を高めることで、活力ある長寿社会の実現をめざします。

8-③ 生活支援の充実

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、在宅生活を継続するための支援や介護者の負担の軽減を図るための福祉サービスを実施します。

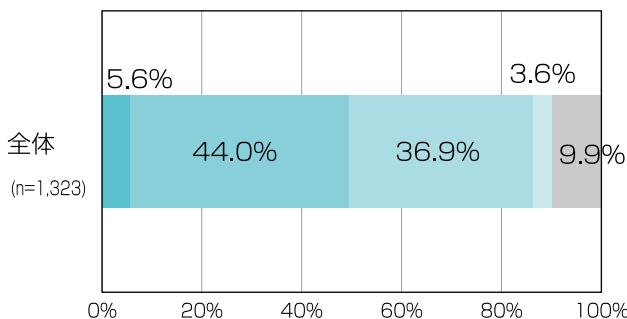
8-② 社会活動への参加の促進

社会参加を希望する高齢者の就業機会の支援と福祉の増進を図るために、シルバー人材センターや五泉しごと館と連携を深めるとともに、学習の場、憩いの場の環境整備に努めます。

8-④ 高齢者ボランティアの育成

高齢者ボランティアが、日々の活動や介護予防自主サークル活動を通して、地域の高齢者を支える担い手として活躍できるよう支援します。

■是非参加したい ■参加してもよい ■参加したくない
■既に参加している ■無回答



図：地域活動への参加者としての参加意向
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査令和2年3月実施)



交流と心身の健康保持 (スクエアステップ)

成果指標 注：太字・斜体 文字は、新型コロナウイルスの影響を受けた異常値等

指標名	H30	R元	R02	R08
老人福祉センター※の利用者数	27,246人	23,821人	16,341人	27,000人
「さくら号」回数券購入助成件数	837件	749件	707件	840件
シルバー人材センターの会員数	673人	666人	651人	650人

SDGs



施策の対象：障がいのある人、障がいのある人の家族、市民

主担当課：健康福祉課／関係課：こども課、学校教育課、農林課

■ 基本方針 関連計画：第3次五泉市障がい者計画、第6期五泉市障がい福祉計画、第2期五泉市障がい児福祉計画

障がいの有無にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちをめざします。

障がいのある人が地域で自立した生活を送るために、各種障害福祉サービスの提供やさまざまな相談への対応などの支援を行います。

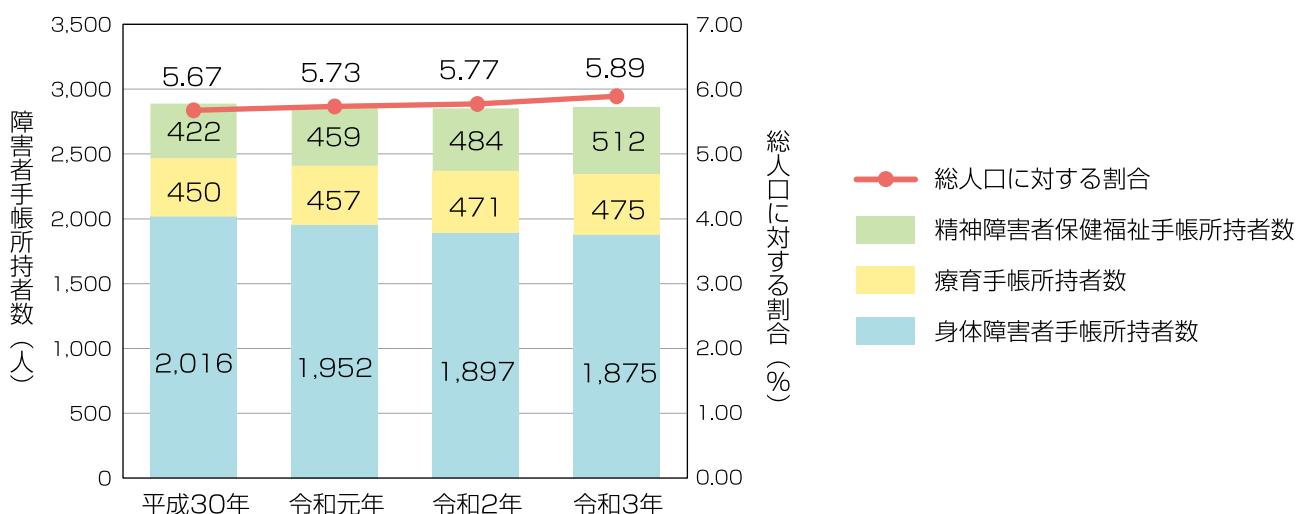
また、市民に対し障がいについての理解を深めるための取り組みを行います。

■ 現状と課題

令和3年4月現在、障害者手帳（身体、療育*、精神）を所持している市民は2,862人です。近年の傾向として、発達障がいを含む精神障がいの人や、身体障がいでも内部障がい（人工肛門や糖尿病による透析等）の人の割合が増えています。

近年は、核家族化の進行、更には障がいを持ちながら独居生活を送る人も増えており、ニーズが多様化しています。

- 障がいのある人の多様化するニーズに対応するため、各種サービスの充実、相談支援体制の強化が必要です。
- 障がいの早期発見と療育施策の充実を図るとともに、ライフステージ*に応じた途切れない支援を行うため、関係機関の連携が必要です。
- 就労機会拡大に向け、障害者雇用に係る普及啓発と就労支援の取り組みを、関係機関と連携し行う必要があります。
- 障がいについての正しい知識や関心を深めるための取り組みや、障がいのある人の権利擁護に関する取り組みを推進していく必要があります。



図：障害者手帳所持者数の推移（各年4月1日現在）

■今後の取り組み

9-① 障害福祉サービスの充実

障がいのある人が、地域で自立した生活を送れるよう、障害者総合支援法に基づき福祉サービスを給付します。また、障がいのある人の日中活動の場の提供や地域での住居支援などさまざまなニーズに対応できるよう、サービスの提供体制の向上に努めます。

9-③ 相談支援体制の充実

障がい者基幹相談支援センターを相談支援の拠点とし、日常的な相談から専門的な相談まで、さまざまな相談に対応します。また、障がい者総合支援協議会において地域の関係機関と連携し、相談支援体制の充実を図ります。

9-⑤ 雇用・就業、経済的自立の支援

障がい者総合支援協議会を通じて関係機関と連携し、企業に対する啓発等の取り組みを行っていきます。また、農業を障がいのある人の就労の場の一つとして位置付け、関係機関と更なる発展に向けて連携します。

9-⑥ 障がい者理解と権利擁護の促進

広報等による周知やフォーラムを開催し、障がいに対する理解促進を図っていきます。また、障がいのある人の権利擁護に関しては、障害者差別解消法や虐待防止センターでの対応、成年後見制度^{*}に関する支援体制づくり等の取り組みを行っていきます。

9-② 地域生活支援の充実

障がいのある人が地域で自立した生活を送るために、外出に関する支援やコミュニケーション支援、日常生活用具の給付などさまざまな角度から支援を行います。また、障害者地域活動支援センターにおいて、障がいのある人の地域との交流促進を図ります。

9-④ 障がい児支援の充実

障がいのある子どもに対する支援については、子どもの成長過程やライフステージ^{*}に応じた継続的な支援が必要なため、支援内容の充実を図るとともに、関係機関との連携を強化し、途切れないと支援を実施していきます。



令和元年度五泉市を会場に開催された
「五泉市・阿賀野市・阿賀町2市1町
障がい者合同フォーラム」
車いすバスケットボール

■成果指標

指標名	H30	R元	R02	R08
地域生活移行者数	0人	3人	3人	4人
一般就労移行者数	6人	4人	5人	8人

■SDGs

